

令和 6 年度岩手県消防協会実施事業報告

東日本大震災をはじめ、地震や台風、異常気象による局地的な豪雨、林野火災などの大規模災害を経験するとともに、令和 6 年 8 月には南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が初めて発表され、大規模な地震と津波が懸念される。また、令和 7 年 2 月に大船渡市で発生した林野火災は、焼失面積が平成以降で国内最大となったことから、地域防災力の重要性がさらに増大している。

こうした中、令和 6 年度の実施事業については、令和 6 年度岩手県消防協会事業計画に基づき、県内の消防本部、消防団並びに市町村と十分な協力、連携のもとに計画された各事業は全て実施した。

公益目的事業 1 については、「防火防災思想の普及啓発事業」、「消防功労者の顕彰事業」及び「消防団員の確保及び育成強化事業」に区分して実施した。

防火防災思想の普及啓発事業では、岩手県女性消防連絡協議会及び岩手県幼少年女性防火委員会に助成等を行い、一体的に防火思想の普及啓発活動に努めた。

消防功労者の顕彰事業では、消防職・団員の連携の強化と士気の高揚を図るため消防定例表彰を実施したほか、「岩手県民の警察官・消防職団員表彰式」に協力した。

消防団員の確保及び育成強化事業では、消防団員の確保を図るため、消防団員募集や消防団活動等について、ラジオ放送を活用して広く住民に向けた広報を実施した。また、林野火災が発生した宮古市消防団（令和 6 年 4 月）と大船渡市消防団に対して支援金を交付した。

公益目的事業 2 については、岩手県の委託を受けて、岩手県立総合防災センターの運営管理等の委託業務を実施した。

また、公益目的事業の補完的な役割となる収益事業として、各種共済事業や消防個人年金事業等の事務を行ったほか、その他の事業として、岩手県危険物安全協会連合会の事務を受託し、同連合会の全般にわたる事務を行った。

○ 公益目的事業 1

I 防火防災思想の普及啓発事業

1 チラシ「防火の知識」の作成配布

県民の防火思想の普及啓発を図るため、「秋季全国火災予防運動」に併せ、令和 6 年版チラシ「防火の知識」を作成し、市町村並びに関係団体等に配布した。〈12,000 部〉

2 機関紙「消防岩手」の発行

日本消防協会の補助を受け、機関紙「消防岩手」を年 6 回発行し、消防職・団員の教養資料及び情報の伝達に資した。〈21,300 部〉

3 機関誌「日本消防」の配布

日本消防協会の機関誌「日本消防」を消防団長等の教養資料等に資するために配布した。〈2,100部〉

4 岩手県女性消防連絡協議会による防火思想普及活動助成

県内の婦人消防協力隊及び婦人防火クラブ員による防火思想の普及啓発を図るとともに、組織拡大と育成強化を図るために活動助成金として30万円を交付した。

(1) 総会及び隊長・会長研修会

〈令和6年4月20日（土）・岩手県立総合防災センター〉

婦人消防協力隊長、婦人防火クラブ会長等の資質の向上を図ることを目的として開催する研修会に協力した。

(2) 女性消防等指導者研修会（共催事業）

〈令和7年2月9日（日）～10日（月）・ホテル紫苑〉

自主防災組織の中核である女性消防等の民間防火組織の拡充強化及びその資質向上を図ることを目的として、当協会と岩手県女性消防連絡協議会、岩手県幼少年女性防火委員会、日本防火・防災協会の共催により「令和6年度女性消防等指導者研修会」を開催した。

5 岩手県幼少年女性防火委員会による防火思想普及活動助成

県内の幼少年消防クラブ及び婦人消防協力隊・婦人防火クラブ員による防火思想の普及啓発を図るとともに、組織の拡大と育成強化を図るために活動助成金として20万円を交付した。

(1) 定例表彰

9月1日の防災の日に表彰基準に基づき火災予防意識の高揚及び啓発に多大な貢献をされ、他の模範となる団体・個人を表彰した。

ア 優良幼年消防クラブ	2 団体
イ 優良少年消防クラブ	2 団体
ウ 優良婦人消防協力隊・婦人防火クラブ	2 団体
エ 優良幼少年消防クラブ指導者	2 名

(2) 火災予防広報事業

幼年・少年消防クラブ員の活動に資するため、火災予防用品を各地区の幼少年防火委員会に配布した。

(3) 防火ポスター、防火・防災に関する作文の募集協力

全日本消防人共済会が募集する防火ポスター及び防火・防災に関する作文コンクールの募集に協力した。

6 岩手県女性消防連絡協議会の事務協力

県内の婦人消防協力隊・婦人防火クラブの組織の充実強化を図るとともに、相互の連帯協調のもとに全県的な火災予防活動を進めることにより、安全で住みよい郷土づくりに貢献することを目的に結成されてい

る岩手県女性消防連絡協議会の事務局として事務全般にわたり協力した。

7 岩手県幼少年女性防火委員会の事務協力

岩手県内の幼少年消防クラブ及び婦人防火クラブの育成強化を図り、火災予防思想の普及向上に努めるとともに、本県の火災予防の推進に寄与することを目的に結成されている岩手県幼少年女性防火委員会の事務局として事務全般にわたり協力した。

令和6年4月1日現在

- | | | |
|----------------------|-------|---------|
| (1) 幼年消防クラブ | 261団体 | 13,764人 |
| (2) 少年消防クラブ | 124団体 | 6,116人 |
| (3) 婦人消防協力隊(婦人防火クラブ) | 42団体 | 46,117人 |

8 岩手県消友会の事務協力

退職された消防団長、婦人消防協力隊長・婦人防火クラブ会長及び消防長等が、消防人であったことに誇りを持って会員相互の親睦等を図るとともに、岩手の消防発展に寄与することを目的に結成されている岩手県消友会の事務局として事務全般にわたり協力した。

II 消防功労者の顕彰事業

1 令和6年度岩手県消防協会定例表彰式

＜令和7年3月26日（水）・岩手県民会館＞

消防職・団員が長年の消防防災活動に従事した功績、消防協力団体並びに一般の方々が火災等の災害発生時に消火や人命救助等に協力した功績を顕彰し、災害対応等への消防活動に対する住民の理解醸成及び防火防災意識の向上、消防職・団員の連携の強化と士気の高揚を図り、安全な県土を構築する事業として岩手県と共催により令和6年度岩手県消防表彰式を行った。

(1) 岩手県消防協会会長表彰

ア 竿頭綬「無火災功労」 4団 宮古市消防団、大船渡市消防団
岩手町消防団、大槌町消防団

イ 功労章 68名

ウ 功績章 135名

エ 表彰状

- ・ 岩手県消防協会役員功労賞 8名
- ・ 婦人消防協力隊員・婦人防火クラブ員表彰 29名
- ・ 消防団事務担当功労賞 1名

(2) 岩手県消防協会会長感謝状

ア 一般協力団体 2団体 遠野地方森林組合（遠野市）
株式会社サンケイ商会（金ケ崎町）

イ 内助功労賞 81名

ウ 特別感謝状 3名

2 第66回岩手県民の警察官・消防職団員表彰式

＜令和6年11月7日（木）・盛岡市民文化ホール＞

読売新聞盛岡支局及びテレビ岩手主催による岩手県民の警察官・消防職団員表彰に雫石町消防団 上和野忠一 分団長が受章の栄に浴され、表彰状及び記章等が授与された。

Ⅲ 消防団員の確保及び育成強化事業

1 消防団員確保事業

社会経済の変化や少子高齢化等に伴い、消防団員数の減少で地域防災力の低下が懸念されていることから、消防団員の確保を図り安全・安心なまちづくりに寄与する事業として消防団員募集や消防団活動等についてのPR活動を行った。

ラジオ広報＜令和7年2月1日（土）～3月20日（木）＞

ラジオ局（IBCラジオ及びエフエム岩手）を活用し、ラジオCMのスポット放送を実施して消防団員募集等のPR活動を行った。

2 災害支援事業

令和6年4月に発生した宮古市及び令和7年2月に発生した大船渡市の林野火災により災害活動を行った各消防団の支援のため、宮古市消防団に15万円、大船渡市消防団に30万円の支援金を交付した。

3 消防操法競技会事業

(1) 第43回岩手県消防操法競技会

＜令和6年8月4日（日）・岩手県消防学校＞

消防団員のポンプ操法技量の基礎を培い、競技による操作の三原則である安全、確実、迅速の徹底と士気の高揚を図ることを目的として岩手県の後援により開催した。（悪天候により予備日開催）

また、各地区支部に出場助成金を交付した。

ア ポンプ車の部 12チーム

イ 小型ポンプの部 12チーム

(2) 第30回全国消防操法大会

＜令和6年10月12日（土）・宮城県利府町＞

第43回岩手県消防操法競技会「小型ポンプの部」で優勝し、岩手県代表として日本消防協会が開催する全国消防操法大会に出場した洋野町消防団に訓練及び出場助成金を交付した。

4 消防団員の育成強化

(1) 令和6年度消防団長等幹部研修会

＜令和7年1月23日（木）・ホテル紫苑＞

消防団組織の育成強化、消防団の幹部職員としての資質の向上を図

ることを目的として研修会を開催した。

ア 講話：「消防行財政の現状と課題」

岩手県復興防災部副部長兼消防安全課総括課長

イ 活動（事例）発表：「全国消防操法大会出場について」

洋野町消防団長

ウ 講演：「最近の災害環境の変化と消防団活動に期待されるもの」

（日本消防協会の新たな災害環境に対応する消防団のあり方に関する講座）

元横浜市消防局中消防署長 小野和夫 氏

(2) 総合的現地教育訓練指導

各消防団等が開催した消防演習等に会長等が出席し、消防団員並びに消防関係者を激励した。

(3) 消防救助技術岩手県大会への補助事業

＜令和6年6月27日（木）・岩手県消防学校＞

岩手県消防長会が開催した「第47回消防救助技術岩手県大会」の運営費の一部として10万円の補助金を交付した。

5 日本消防協会が実施する事業等への協力、参加助成

消防殉職者慰霊祭、消防操法大会、消防団員の研修事業等に参加した経費の一部を助成するとともに参加協力した。

(1) 第43回全国消防殉職者慰霊祭

＜令和6年10月3日（木）・ニッショーホール＞

全国消防殉職者慰霊祭に本県からご遺族3名と佐藤会長が参列した。

(2) 第30回全国消防操法大会

＜令和6年10月12日（土）・宮城県利府町＞

洋野町消防団が岩手県代表として小型ポンプの部に出場し、優良賞を受章した。

(3) 第51回消防団幹部特別研修

＜令和7年1月14日（火）～17日（木）・日本消防会館＞

一戸町消防団 斉藤和彦団長が参加した。

(4) 第24回消防団幹部候補中央特別研修

将来の消防団幹部を育成することを目的に開催された本研修会に男性消防団員3名、女性消防団員2名が参加した。

ア 男性消防団員の部

＜令和7年1月29日（水）～31日（金）・日本消防会館＞

参加：久慈市消防団、野田村消防団、普代村消防団 各1名

イ 女性消防団員の部

＜令和7年2月19日（水）～21日（金）・日本消防会館＞

参加：一関市消防団、平泉町消防団 各1名

(5) 全国消防大会

第77回日本消防協会定例表彰式

＜令和7年3月7日(金)・ニッショーホール＞

ア 優良消防団「表彰旗」 1団 雫石町消防団

イ 優良消防団「竿頭綬」 3団 宮古市消防団、花巻市消防団、
山田町消防団

ウ 「功績章」 18名

エ 「精績章」 49名

オ 「勤続章」 358名

(6) 女性消防団員研修事業

＜令和6年9月19日(木)・栃木県宇都宮市＞

女性消防団員の育成と消防団活性化に資するとともに、地域住民に対し防火意識の高揚を図ることを目的として開催された「第29回全国女性消防団員活性化とちぎ大会」に本県から女性消防団員等30名が参加した。

(7) 消防団員指導員研修事業

＜令和6年12月13日(金)・14日(土)・岩手県消防学校＞

地域防災の中核としての役割を果たす消防団員の任務の重要性に鑑み、これらの消防団幹部としての防災技術の向上を図るため、日本消防協会が都道府県単位に実施する「令和6年度消防団員指導員研修」を岩手県消防学校の幹部教育指揮幹部科分団指揮課程と併せて共催で実施した。(21消防団 40名)

○ 公益目的事業2

岩手県立総合防災センターの運営管理受託業務

岩手県の委託を受けて、県民に対する防災思想の普及啓発を図ることを目的として、地震や暗闇、煙の疑似体験、各種展示設備、モニター映像等により防火防災知識を取得するとともに、模擬消火や応急手当の実演なども体験できる総合防災センターの運営管理等の委託業務を実施した。

また、防災指導車「防災そばっち号」を活用した出前講座や各種イベントに出向した。

1 来館者数 5,155人

内訳：団体 144団体 2,618人

個人 2,537人

2 防災指導車による指導 47回 6,137人

○ 収益事業

1 消防団員等福祉共済事業

消防職・団員が死亡又は障害を受けた場合に、その家族の生活を守るとともに、消防団員等の福祉の増進を図ることを目的とした福祉共済制度に33消防団、1消防本部が加入した。

2 女性防火クラブ員等福祉共済事業

協同互助による共済制度への加入を推進し、女性消防隊員、女性防火クラブ員等の活動の活性化と福祉の向上を一層進めることを趣旨とした女性防火クラブ員等福祉共済制度に27団体が加入した。

3 生活協同組合全日本消防人共済会関係（消防団員火災共済事業）

全国の消防職・団員の福利厚生を図るために、協同互助の精神に基づく共済制度を確立し、組合員の不慮の災害を保障するとともに、その生活の文化的、経済的改善向上を期することを目的とした火災共済に25消防団が加入した。

4 消防個人年金事業

消防職・団員の老後の生活の安定と福祉の向上に資するための消防個人年金制度の周知を図った。

5 幹旋事業

日本消防協会が実施している消防団手帳、消防職・団員幹部職章や記念事業等で販売する記念Tシャツ等について、岩手県分の幹旋及び取りまとめの業務等に協力した。

○ その他の事業1（相互扶助等事業）

岩手県危険物安全協会連合会の事務受託

危険物の取扱い技術の向上及び施設の改善、危険物に起因する災害の防止に努めることをもって、社会公共の福祉の増進に寄与することを目的に組織されている岩手県危険物安全協会連合会の事務を受託し、同連合会の全般にわたる事務を行った。

○ その他の事業2（相互扶助等事業）

1 初任消防団員教育訓練事業

岩手県の委任を受けて、初任消防団員の資質の向上と消防体制の強化を図ることを目的として、消防団員として必要な消防に関する教育訓練を地区支部単位に実施した。

（訓練参加人員：初任消防団員教育 707人）

2 健康福祉増進事業

日本消防協会から「健康福祉増進事業」として受託し、イージーアップテント7セットを5か年計画の2年目で7消防団に配布した。

○ 法人関係

1 会議関係

本会運営のために諸会議を開催するほか、関連機関の開催する会議に関係者が出席した。

(1) 岩手県消防協会各種会議

ア 会長・副会長・業務執行理事会	5 回
イ 理事会	4 回
ウ 評議員会	1 回
エ 監査会	1 回
オ 評議員選定委員会	1 回
カ 表彰審査委員会	2 回
キ 消防長・消防団長・消防担当課長会議	1 回

(2) 令和 6 年度東北地区消防連絡協議会

＜令和 6 年 1 月 13 日（水）・青森市：ホテル青森＞

東北地区の消防関係者の連絡を密にするとともに、当面する消防防災上の諸課題について研究協議を行い、消防の資質向上や地域防災の活性化に努めた。

(3) 令和 6 年度東北地区消防協会事務局会議

＜令和 6 年 1 月 25 日（木）・新潟市：新潟東映ホテル＞

東北地区の消防協会事務局関係者の情報交換や諸課題についての研究討議を行い、知識の修得や資質の向上に努めた。

2 協力事務

(1) 公益財団法人 日本消防協会関係

協会長が日本消防協会の理事及び評議員として、副会長が評議員として会議等に出席した。

(2) 公益財団法人 消防育英会関係

殉職された消防職・団員の遺児が発生した場合に、消防育英会の奨学生として奨学金が交付されて学業に励めるよう消防育英会の事務に協力した。

（岩手県内の令和 6 年度の奨学生 23 名）